

第4学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○体を動かすことを楽しみ、様々な運動のコツをつかんで意欲的に取り組めた。
○各領域の運動に必要な、基本的な知識・技能が身に付いている児童が多い。

課題 ▼用具を伴うと、自分の体を思い通りに動かすことが苦手な児童がいる。
▼自己やグループの課題を理解して、解決するために練習方法を工夫するような課題解決力が弱い。また、友達と考えを交流する力も伸ばす必要がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 体づくり運動を中心に、用具や自身の体を操作する運動技能を高め、基本的な動き（移動やバランス、力試し）を組み合わせて運動のレパートリーを増やす。
- ◇ 自己やグループの運動の実態を把握して課題を理解し、その解決に向けて体の動かし方やゲームの作戦・ルールなどを工夫する課題解決力を高める。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 学習カードを活用して学習を振り返ることで、本時の課題を次時につなげられるようにするとともに、自分自身の成長を実感できるようにする。

言語活動の工夫

- 学習カードを用いて、運動のコツや作戦などを絵や図にしながら共有させる。また、考えを伝え合う時間を十分に確保する。

ICT活用の工夫

- 自己の運動を客観的に捉えるためにタブレットで運動の様子を撮影する。他者の動きと比較することで運動の課題発見・解決につなげる。

課題解決力育成の工夫

- 発見した運動のコツや、ゲームにおける作戦など、児童それぞれの思考を視覚化し、共有できるツールとして学習カードを用いて、課題解決に取り組めるようにする。

達成目標

- 運動の楽しさや喜びに味わうとともに、その行い方を理解し技能を高める。
- 自己やグループの運動の課題解決に向かって動き方や作戦を工夫する。
- きまりを守り、場や用具の安全に気を付けながら運動に進んで取り組む。